



Alcoholics Anonymous

こちらAA 専門家の皆様へのニューズレター

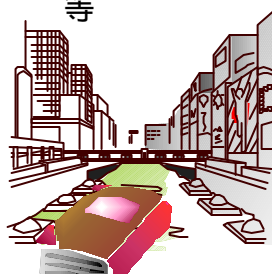
〒100-8691 東京都中央区郵便局 私信箱916

2001年
No. 8
AA日本常任理事会
広報委員会

発行所 J S O AA日本ゼネラルサービスオフィス 〒171-0014 東京都豊島区池袋4-17-10 土屋ビル4F
TEL(03)3590-5377 FAX(03)3590-5419

アルコールリズムとAA

AA日本常任理事会
A類(ノンアルコール)常任理事 田辺 等



一 アルコール依存症者/いわゆるアルコール中毒者(以後アルコール中毒者とする)の多くは、日本酒換算で五合/日(ビールなら五本/日、ウイスキーならダブル五杯/日)以上の大量飲酒を何年も続けたり、その量や期間について個人差はあるものの、エチルアルコールの連続使用の結果、アルコールを自分の意志でコントロールできない体質になっている。注:アルコール依存症/いわゆるアルコール中毒はアルコールリズムとする。

二 アルコール中毒は、これまでに胃炎、肝炎、肝硬変、膵臓炎、糖尿病、大腿骨頭壊死、多発神経炎、小脳変性症、心筋症、高血圧などのために、専門の医師の治療を受けている人が多い。厚生省によれば、このような大量飲酒者は日本全国およそ二四〇万人、医療費は「年間」一兆一千億を越えると報告されている。

三 アルコール中毒の診断を受け、それでも飲酒を止めなかつた者のなかには、大腸癌、食道癌、吐血、脳卒中、痴呆症、そして事故死などで、毎年、命を失う人が少なくない。酒を止められないアルコール中毒者の平均寿命は五〇歳代に留まるとも言われている。

四 アルコール中毒はいつも、それぞれの家族にだけでなく、会社の上にも、内科や外科の先生にも、法律家の先生にも、矯正施設、保護施設の職員にも、保健係り、福祉係りの職員にも、「自分の意志で酒を止めると」誓ってきた。しかしアルコール中毒には、その約束を守る力は既に失われてしまっている。ところが、アルコール中毒者はアルコールに対して無力である事を自ら認め、自助グループに参加することによって飲まない日々を送ることができたのである。

五 アルコール中毒・アノニマス Alcoholics Anonymous (略称AA)とは、酒を止めて、酒のない人生を健全に生きなおすこと(アルコールリズムからの回復)を目的とした集まり(自助グループ)である。

「アルコール中毒」とは「アルコール依存症者/いわゆるアルコール中毒者」のこと、「アノニマス」とは「無名の」、「匿名の」という意味。一九三五年、米国のオハイオ州アクロン市で、ビル・W(株式仲買人)がDr.ボブ(外科医)に自分(アルコール中毒)の経験を伝え、二人のアルコール中毒者が飲まない生き方を実践し始めた事から始まった。

六 AA(アルコール中毒・アノニマス)は、現在、世界の百五十カ国以上に拡がり、メンバーの数は二〇〇万人以上ともいわれている。参加資格は、酒をやめたいという願いを持っていることだけで、会員登録、会費は不要である。自分自身には飲酒の問題があると思う人は誰でも、ミーティングの開かれている時間にその会場に行けば良いだけである。日本では一九七五年から始まり、現在、全国でおよそ三七〇のグループが九〇〇カ所余りの会場でミーティングを行っている。

ミーティングの中には家族や関係者、関心を持つ人が参加できる場所もあるのでご連絡をお待ちしている。

七 AAは、アルコール医療の専門家からは自助グループと呼ばれている。そして、アルコールで、自助グループに通って二年間の断酒を継続した人は、そうでない人とはかに違う良い予後を示していると言われている。

八 AAは宗教団体ではないし、もちろん政治的活動、商業的活動、部外者に献金を募ることもしない。

AAは、いま苦しんでいるアルコール中毒の人々にメッセージを伝えるだけである。そしてAAからは、専門家の皆様方へご理解と、ご協力をいただけるようにニュースレターを発行してお届けすると共に、各種の問い合わせに答えている。

九 AAは、専門家の皆様方が、アルコール中毒に断酒を勧められる時、AAグループのミーティングを体験するようにお薦めくださることを望んでいる。

十 AAのミーティングでは、自分で体験した、困ったこと、苦しんだこと、感じたこと、考えたことを、うまくいったこと、楽しいこと、悲しいこと、心にあることを正直に話すだけで、批判も、説教も、指導もない。そこでは、AAの十二ステップに示された回復の提案に沿い、集うこと、話すこと、聴くことで、それぞれの経験を分かち合いながら新しい生き方を実践して行く。また、他の人間との信頼関係を構築して行く必要性からスポンサーシップと呼ばれる対等な関係の中で、お互いに信頼し合うことも提案されている。

十一 スポンサーシップとはAAで経験を積んだメンバーが、新しくAAにやって来た人の回復の手助けをする「メンバー対メンバー」のかかわりあいであり、それによって、十二のステップを実践しながら共に新しい生き方を求め、アルコールリズムから回復していくAAの核心的な部分だといえる。つまり、他の人への手助けが、そしてその回復が、自分自身の回復にどうしても必要であるというAAの原理に基づくものである。

十二 AAでよく使われる言葉があるので、いくつかをご紹介します。

ビクブク

AAの基本テキストともいえるべき「アルコールリズム・アノニマスの愛称」

三つのモットー

第一のことは第一に
自分が生きて、他人も生かせ
気楽にやろう

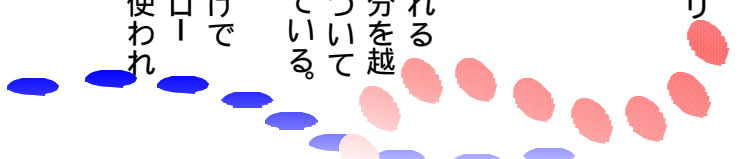
ハイヤーパワー

自分自身を越えた、自分よりも偉大だと認められる「力」。アルコールに無力であるからこそ、自分を越えた大きな力に自分をゆだねている。その力についてどう解釈するかはまったく各人の自由に任されている。

ソプラエティ

飲まないで生きること。単に飲むのをやめるだけでなく、人生のさまざまな側面に、飲まずにアプローチしながら、生き方を深めていくという意味で使われている。

二面にゼネラルサービスオフィス(JSO)、各地域セントラルオフィスのアドレス一覧を掲載しましたので、AAに関する情報についてはぜひ「遠慮なく」ご連絡をいただきたい。

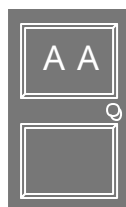


専門家の皆様へのニューズレター第8号

第8号の発行に際し、その企画段階において当初の目的の再確認をしようということになりました。そこで、AA(アルコールクス・アノニマス)が社会資源として活用されるために必要な情報について常任理事会・広報委員会で検討をいたしました。

現在、A類(ノンアルコールク)常任理事の任にあたられている、田辺等先生原稿を掲載させていただきますと共に、第1号発刊時にA類(ノンアルコールク)常任理事をお願いしていた岡崎直人氏の文章の一部を再度掲載いたし、皆様のご理解を賜りますようお願い申し上げます。

AA日本常任理事会広報委員会



こちらAA 専門家向けニューズレターの発刊に向けて

岡崎 直人 (国立久里浜病院ソーシャルワーカー)

今年度(1998年)のAA全国評議会において、こちらAAという専門家向けニューズレターの発刊が承認されました。この専門家向けニューズレター(タイトルが専門家の皆様へのニューズレターに変更されております。)の発行の目的は、AA自体の目的と同じで、まだ苦しんでいるアルコールクにAAのメッセージを運ぶことですが、方法としてはアルコールクに直接メッセージを運ぶのではなく、アルコールクと接する機会が多い専門家向けにAAの情報を提供し、AAを有用な社会資源として用いていただくことにあります。

わが国のAAはその誕生当初から、理解ある専門家の皆様のおかげで、ゆっくりとはありますが着実な歩みで発展を遂げてまいりました。そのことを示す興味深い調査が、最近行われましたのでご紹介いたします。それは「アルコール・薬物依存症者の医療福祉サービスとPSWの関わり - PSW全国調査より - 」と題する調査報告で、国立精神神経センタ

ー精神保健研究所の清水新二さんと松永広子さんによって行われました。(「精神医学ソーシャルワークNo.37 1997年」に掲載されております)。この調査は1996年1月に全国のPSW(精神医学ソーシャルワーク)協会の全員1,582名を対象にした調査で、回答者は750名、47.6%の回答によっています。様々な調査項目の中でAAに関連しているのは「民間自助グループ・施設の認知と連携状況」というところで、この3年ほどでAAと「密接な関係あり」と答えたPSWは11.6%、以下「紹介問い合わせ」32.5%、「見学・出席あり」15.5%、「聞いたことがあり」4.1%、「知らない」1.3%、「不明」5.1%となっています。

この回答を見る限りでは、PSWの間では、AAについてかなり知れ渡っており、知らない人はごくわずかになったと言えるでしょう。また、AAの認知度の大都市と地方の格差も、以前よりかなり縮まったと調査者は述べています。他の職種や領域でのAAの普及度の調査は知らないのですが、おおむね医療・保健・福祉の分野でのAAに対する認知度はこの調査と同様に高くなっていると予想されます。

その一方で、この調査数字ではAAと「密接な関係あり」と述べたPSWは1割強の少数派で、1/3は「聞いたことあり」のレベルに留まっていることが示されています。実際にAAを使い、効き目を実感していただくことによって、この差を埋めていくことがAAにとっての大きな課題です。さらに司法関係や教育・産業衛生の領域でのアルコール問題の拡大と認識の深まりに応じて、AAの有用性が認められ、専門家の皆様の理解と支援を必要とする機会が今後ますます大きくなると予想されます。

この時に当たって、新たに専門家向けのニューズレター(タイトルが専門家の皆様へのニューズレターに変更されております。)を、初年度は年に2回とはいえ、発行できることは誠に幸いであると感じています。多くの専門家の方に、AAとの関わりの中での経験を分かち合う場を提供することによって、苦しんでいるアルコールクに回復のメッセージが届いていくことの一助になりますようお願いいたします。

どうぞご遠慮なく、専門家の皆様のご意見やご質問をどしどしお寄せください。

AAは今後も、従属はしないが協力は惜しまないなどの伝統を守りつつ、専門家の皆様と手を携えていくことを願っております。

*専門家向けニューズレター第1号 1998年8月31日発行より一部修正の上転載 なお、岡崎氏は元日本常任理事会・A類常任理事(1996~99)

AA日本ゼネラル・サービス・オフィス(JSO)

171-0014 東京都豊島区池袋 4-17-10 土屋ビル4階
TEL 03-(3590)-5377 FAX 03-(3590)-5419

業務時間: 10:00~18:00 (月~金) (土・日・祝日休み)

(下記のオフィスではそれぞれの地域の情報をお伝えしているのでご活用いただきたい)

北海道セントラルオフィス

062-0934 札幌市豊平区平岸4条3丁目1-29 マンションカワイ1F-1号
TEL/FAX.011-(811)-3770

業務時間: 10:00~17:00 (月~金) (土・日・祝日休み)

東北セントラルオフィス

981-0933 仙台市青葉区柏木 1-7-12 紫苑荘 2階東
TEL/FAX 022-(276)-5210

業務時間: 12:00~14:00 (月~土) (日・祝祭日休み)

関東甲信越セントラルオフィス

170-0005 東京都豊島区南大塚 3-34-16
http://www.h2.dion.ne.jp/aa-kkse/ TEL 03-(5957)-3506 FAX 03-(5957)-3507

業務時間: 9:00~19:00 (年中無休)

中部北陸セントラルオフィス

462-0844 名古屋市北区清水 4-15-1 日宝黒川ビル 404号
http://park16.wakwak.com/~chco TEL 052-(915)-1602 FAX 052-(917)-0764

業務時間: 10:00~17:00(月~金) 10:00~17:00(土・日・祝祭日休み)

関西セントラルオフィス

550-0015 大阪市西区南堀江 2-3-24 マッセ南堀江メゾン801
http://www2.odn.ne.jp/aa-kco/ TEL 06-(6536)-0828 FAX 06-(6536)-0833

業務時間: 9:30~17:30(月~金) 13:00~16:00(土・日・祝祭日)

中国四国セントラルオフィス

730-0846 広島市中区大手町3-6-13 イパ^{i}大手町603号
http://ww1.enjoy.ne.jp/cscso/ TEL 082-(246)-8608 FAX 082-(295)-9754

業務時間: 9:00~17:00 (月~金) (土・日・祝祭日休み)

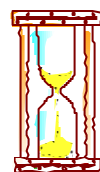
九州沖縄セントラルオフィス

892-0803 鹿児島市祇園之州 12 セジュール祇園之州 203
TEL/FAX 099-(248)-0057

業務時間: 10:00~18:00(月~土) (日休み)

日本ゼネラルサービスオフィスと地域セントラルオフィスのネットワーク

メンバーシップサーヴェイ(メンバー構成調査)のおしらせ
第二回メンバーシップサーヴェイ(名称を変更いたしました)が内容はほとんど同じデータを収集いたします。六月末の締め切りと同時に、集計を開始する予定となっております。前回は比べてどのような傾向が出てくるのか、結果を待ちたいと考えております。今後の予定は秋の日本ニューズレターに各項目の比率を掲載し、その後リーフレット等の作成にかかる事になっております。
AAは調査や追跡は行いませんが、大まかに現在のメンバー構成の特徴を知ること、メンバーはそれぞれの活動に、そして外部(専門家、一般の人たち)に向けてAA共同の姿をご理解いただけるように、このメンバーシップサーヴェイを実施いたします。
常任理事会広報委員会は一九九七年に第一回メンバーシップアンケート調査を実施、データをリーフレットとして発刊いたしました。現在在庫が切れましましたので、コピーをお届けできるようにしております。ご希望の方はJSOまでご連絡ください。



JSOの業務時間 月曜日から金曜日 午前10時から午後6時(祝祭日は休み) *関係する機関などで、この「専門家向けニューズレター」が届いていない場合は、どうぞお電話を御連絡ください。
URL <http://www.cam.hi-ho.ne.jp/aa-jso/> e-mail aa-jso@cam.hi-ho.ne.jp

